



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 大同信号株式会社

上場取引所 東

コード番号 6743 URL <https://www.daido-signal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 盛三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長 (氏名) 山田 喜嗣

TEL 03-3438-4111

四半期報告書提出予定日 2023年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,558	△14.7	695	△42.3	785	△39.4	488	△40.0
2022年3月期第3四半期	15,901	14.1	1,205	71.0	1,295	61.1	814	134.1

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 400百万円 (134.3%) 2022年3月期第3四半期 170百万円 (△77.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	27.44	—
2022年3月期第3四半期	45.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	41,622	27,161	54.8
2022年3月期	42,442	26,957	53.2

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 22,820百万円 2022年3月期 22,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	△4.4	700	△49.3	800	△45.2	500	△30.2	28.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	18,018,000 株	2022年3月期	18,018,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	226,967 株	2022年3月期	226,854 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	17,791,102 株	2022年3月期3Q	17,791,183 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における、わが国経済は、経済活動の正常化が進み、新型コロナウイルス感染症に関するワクチン接種の進展や行動制限の緩和を受けて、サービス業を中心に緩やかな回復が継続しました。

しかしながら、世界経済においては、経済活動が正常化する中で歴史的な高インフレが発生し、欧米等多くの国・地域では厳しい金融引き締めが実施されました。また、ウクライナ情勢の緊迫化により、資源価格の高騰が継続し、日米金利差拡大を背景とする円安進行とも相まって、原材料・運送コスト上昇等による物価高が景気下押し要因となっています。

さらに、グローバルサプライチェーンに混乱をもたらした中国の都市封鎖は解除されたものの、ウクライナ情勢の長期化等、引き続き先行き不透明な状況が継続しています。

当社グループの主要なお客さまである鉄道事業者においては、新型コロナウイルス感染症拡大第8波の影響が懸念されるものの、行動制限の緩和や、感染症対策の進展に加え、全国旅行支援等の観光支援策の影響もあって、鉄道需要の回復傾向が続いております。しかしながら、半導体不足等の電子部品の入手困難な状況は継続しており、設備投資計画の見直しや発注時期の延期等、当社受注に関する影響は続いております。

このような中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大抑制に留意し、テレワーク等の実施により従業員の感染リスクを低減しつつ、事業活動の維持に努めてまいりました。また、国内市場の維持・拡大、時代のニーズにマッチした受注の獲得と拡大及び経費節減にも取り組んでまいりました。

引き続き、世界的な電子部品入手困難や円安進行に伴うコスト増等、不透明かつ厳しい環境下にありますが、きめ細やかな受注予測に基づく部材の先行手配や、徹底した納期管理を通じた戦略的な製品展開等に継続的に取り組むとともに、設計変更等の対応も合わせて実施してまいります。

鉄道信号関連事業については、電子連動等のシステム製品が増加したものの、運行管理システムやATC（自動列車制御装置）等のシステム製品や、電子踏切、踏切装置等のフィールド製品が減少し、売上高は125億75百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益は15億54百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

産業用機器関連事業については、需要の低迷及び部材入手困難の影響もあり、鉄道車両用自動すきま調整器や非接触耐熱IDシステム等主要製品において減少し、売上高は6億82百万円（前年同期比21.9%減）、セグメント利益は9百万円（前年同期比44.2%減）となりました。

不動産関連事業については、売上高は3億円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は1億37百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は135億58百万円（前年同期比14.7%減）、営業利益は6億95百万円（前年同期比42.3%減）、経常利益は7億85百万円（前年同期比39.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億88百万円（前年同期比40.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億20百万円減少し、416億22百万円となりました。これは、棚卸資産が14億1百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が7億2百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が29億87百万円減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ10億24百万円減少し、144億60百万円となりました。これは、賞与引当金が5億2百万円、未払法人税等が2億93百万円、支払手形及び買掛金が2億93百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加し、271億61百万円となりました。これは、利益剰余金が3億10百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、概ね当初予定通りに推移しており、2022年5月19日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,002,809	4,014,926
受取手形、売掛金及び契約資産	10,046,664	10,749,404
商品及び製品	2,918,942	3,014,974
仕掛品	4,045,735	4,985,745
原材料及び貯蔵品	2,406,798	2,772,143
その他	37,959	373,317
流動資産合計	26,458,911	25,910,512
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,484,645	6,484,645
その他(純額)	3,579,591	3,451,258
有形固定資産合計	10,064,237	9,935,903
無形固定資産		
投資その他の資産	105,388	87,163
投資有価証券	5,496,441	5,319,688
その他	324,345	374,581
貸倒引当金	△6,920	△5,850
投資その他の資産合計	5,813,866	5,688,420
固定資産合計	15,983,492	15,711,487
資産合計	42,442,403	41,622,000
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,842,166	3,549,086
短期借入金	3,629,804	3,576,720
未払法人税等	297,054	3,680
賞与引当金	814,833	312,099
役員賞与引当金	17,391	8,172
製品補修引当金	210,746	166,376
その他	1,059,434	1,381,135
流動負債合計	9,871,430	8,997,270
固定負債		
長期借入金	1,437,210	1,274,420
役員退職慰労引当金	74,636	81,711
製品補修引当金	905,384	796,517
退職給付に係る負債	1,762,222	1,757,194
その他	1,433,578	1,553,158
固定負債合計	5,613,032	5,463,002
負債合計	15,484,462	14,460,273

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,039	1,500,039
資本剰余金	1,233,716	1,233,716
利益剰余金	18,066,412	18,376,614
自己株式	△66,407	△66,459
株主資本合計	20,733,760	21,043,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,841,484	1,764,748
退職給付に係る調整累計額	13,897	11,750
その他の包括利益累計額合計	1,855,382	1,776,498
非支配株主持分	4,368,798	4,341,317
純資産合計	26,957,940	27,161,726
負債純資産合計	42,442,403	41,622,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	15,901,107	13,558,300
売上原価	11,532,477	9,757,421
売上総利益	4,368,629	3,800,879
販売費及び一般管理費	3,163,445	3,104,891
営業利益	1,205,184	695,988
営業外収益		
受取配当金	116,079	114,812
その他	24,409	19,903
営業外収益合計	140,489	134,715
営業外費用		
支払利息	46,476	44,996
その他	3,413	148
営業外費用合計	49,889	45,144
経常利益	1,295,784	785,559
特別損失		
投資有価証券評価損	5,311	-
固定資産除却損	4,491	439
特別損失合計	9,802	439
税金等調整前四半期純利益	1,285,982	785,119
法人税、住民税及び事業税	26,579	30,858
法人税等調整額	393,609	225,648
法人税等合計	420,188	256,506
四半期純利益	865,793	528,612
非支配株主に帰属する四半期純利益	51,628	40,499
親会社株主に帰属する四半期純利益	814,164	488,113

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	865,793	528,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△700,735	△126,116
退職給付に係る調整額	5,789	△2,147
その他の包括利益合計	△694,945	△128,263
四半期包括利益	170,847	400,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,085	409,230
非支配株主に係る四半期包括利益	△65,238	△8,880

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は生産面等において現時点では大きくありませんが、事態の進展や終息時期等は予測が立て難く、加えて鉄道利用者の動向は流動的で、引き続き不透明な環境が続くものと思われます。それに伴い、鉄道事業者の設備投資計画如何によっては、当社グループの業績、財政状態に悪影響を及ぼす懸念がありますが、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響の仮定に重要な変更はありません。